

事務事業名称	旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業													
測定年度	2022(R4)年度				部	観光にぎわい部				課	文化財課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち												
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	旧田中家鋳物民俗資料館条例、旧田中家鋳物民俗資料館条例施行規則、旧田中家鋳物民俗資料館条例使用料に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	(資料館 展示) 地域を問わず全ての市民(歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人)			
	サブターゲット	生涯学習・社会教育の機会を求めている人			
	ターゲットが抱える課題	歴史や文化財への関心が薄く、資料館に行きたいという動機付けがされにくい。			
	ターゲットが抱える課題	立地条件が悪い上に駐車場がないため、来館しづらい。 伝統工芸を学べる場が少なく、学べる場の情報も少ない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人が、枚方の鋳物の歴史及び昔の暮らしについて理解を深める場所や機会として、広く周知された上、適切に提供されている。				
事業概要	所在地は、藤阪天神町5-1。 枚方上之町の田中家は古くから鋳物業を営み、江戸時代には真継家から独占的営業を許され、河内国惣官鋳物師として河内の鋳物師を統率し、梵鐘、鍋、釜などを鋳造していた。 本市は、田中氏から鋳物工場と主屋の寄贈を受け、藤阪天神町に移築復原し、昭和59年10月資料館として開館した。鋳物工場では鋳物の歴史、主屋では民俗文化財を展示している。 平成20年に、「鋳物づくり」等ができる工房をオープンした。体験工房では「鋳物づくり」、「彫金」や「七宝焼」などが体験できる主催講座を開催するほか、美術・工芸などの創作活動を行うサークル等に有償(一部減免あり)で工房及び付属設備の貸し出しを行っている。 平成29年度まで(公財)枚方市文化財研究調査会へ委託していた民俗文化財収集・整理作業については、平成29年度実績まで文化財保護管理事業としていたが、平成30年度に同会の解散に伴い事業統合し、同年度から当事業へ再編成した。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	枚方の鋳物の歴史及び昔の暮らしについて理解を深める場所や機会として、広く周知される。				アウトプット (活動結果)	資料館に市民等が来館する。				インプット (活動)	資料館を運営し、歴史・文化財への関心を高めるイベントを実施する。			
	指標説明	来館者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式: 来館者アンケートにて「満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				来館者数	イベント等の実施回数(延べ)								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	10,000	10,000	10,000	10,000	27	27	27	27		
	実績	88	82	87		3,874	4,213	6,285		15	23	29			
達成度	109%				63%				107%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		枚方の鋳物の歴史及び昔の暮らしについて理解を深める場所や機会として、広く周知される。				講座に市民等が参加する。				「鋳物づくり」、「彫金」や「七宝焼」などが体験できる講座を開催する。			
指標設定②	指標説明	来館者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式:来館者アンケートにて「満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				参加者数				講座等の実施回数(延べ)			
		単位 %				単位 人				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	272	272	272	272	58	58	58	58
実績	88	82	87		148	245	267		20	34	59		
達成度	109%				98%				102%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.73
再任用	0.40
任期付職員	0.85
会計年度任用職員	2.18
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	8,592	11,319	11,355		
	会計年度任用職員	12,310	10,500	6,481		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	20,902	21,819	17,836		
	物件費計	10,205	9,627	10,985	12,633	87.0%
歳出計		31,107	31,446	28,821		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	200	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	37	45	68	170	
	市債	0	0	0	0	
	その他	563	629	1,342	1,895	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	800	674	1,410	2,065	
一般財源(物件費に充当されるもの)		9,405	8,953	9,575	10,568	

5. 総括的分析

総括的分析	来館者数は前年比で21%の増加となったが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛により指標策定時の基準には達しなかった。体験工房事業は、コロナ前と同水準の回数を実施でき、申込者数・満足度も高い成果を得られた。 民俗調査19件、文書調査1件を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	小学校に対する見学の受け入れについての新たな周知方法を模索し、より積極的な働きかけを行う。 民俗調査について、祭礼行事及びだんじり調査を計画的に進めていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 521

事務事業名称	市史編さん年報発行事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市域、自分の住む地域、あるいは自分の家の歴史を知りたい、調べたい人。			
	サブターゲット	枚方の歴史に係る文章を作成したり、行政の過去の経過等を調べる必要の生じた庁内の部署・職員。			
	ターゲットが抱える課題	歴史資料を保存し、利用に対する要望に応える必要があるため。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が自分の住む地域の歴史を知ることで、郷土に対する愛着が醸成され、学生・研究者によって、本市の歴史研究の蓄積が進み、地域の歴史像がより豊かなものとなるとともに、本市の過去の写真や歴史に関する叙述がマスメディアや企業PR誌等に掲載され、市の魅力発信がなされている状態。				
事業概要	枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を行い、また、市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えることで、市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的として、歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民が自分の住む地域の歴史を知ることで、郷土に対する愛着が醸成され、学生・研究者によって、本市の歴史研究の蓄積が進む。				アウトプット (活動結果)	枚方市域、自分の住む地域、あるいは自分の家の歴史を知りたい市民が年報を読む。				インプット (活動)	枚方市史年報等を刊行する。			
	指標説明	レファレンス件数(枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか閲覧・複写及び貸出等の利用も含めた件数)				販売部数(市史等刊行物)				刊行部数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	250	260	270	280	140	140	140	290	700	700	700	1,400		
	実績	219	269	224		138	185	108		700	700	700			
達成度	83%				77%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.73
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.75
特別職非常勤	3.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,208	5,229	7,191		
	会計年度任用職員	4,299	3,535	2,577		
	特別職非常勤	1,204	1,204	1,204		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,711	9,968	10,972		
	物件費計	668	871	1,014	1,295	78.3%
	歳出計	9,379	10,839	11,986		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	105	139	94	182	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	105	139	94	182	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	563	732	920	1,113	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>市史編さん事務を行う市史資料室が所在する中央図書館は、令和4年9月15日から30日まで図書館システムサーバ入替等の作業のため臨時休館した。さらに、10月から翌年2月までは開館していたものの、外壁工事のため長期に亘って館全体を覆うように足場が組まれ、時には騒音・振動を伴う工事が行われた。これらの理由で来館者が減少し、平常通り開館していた令和3年度に比べてレファレンス件数や刊行物販売数も減少したと考えられる。今後、業務の継続性を担保するため、管理運営の在り方を検討する必要がある。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>地域社会の記憶装置としての役割を果たすためには、記録資料の収集・保存・活用といった従来の業務を継続する必要がある。今後もレファレンス機能を市民に広くアピールし、資料の利用を促進する。また、市史資料室は中央図書館内に所在するが文化財課の所管であり、図書館休館中の対応等についても機会あるごとに丁寧に周知していく。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 523

事務事業名称	特別史跡百済寺跡再整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、地方自治法、枚方市専門委員設置規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	特別史跡百済寺跡再整備検討委員協議会				
事業対象	メインターゲット	百済寺跡や百済王氏、奈良時代の歴史に関心のある、史跡公園を利用する市民			
	サブターゲット	一般の史跡公園利用者や周辺に居住する市民、近隣市町の住民			
	ターゲットが抱える課題	整備から40年以上が経過し、老朽化・毀損が著しく、適切な遺構保存を図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	百済王氏の氏寺として、あるいは中央の官寺以外、地方の寺院としては異例ともいえる本格的伽藍配置をもつ古代寺院跡として広く認知されるとともに、当時の古代寺院の景観を体感できる歴史学習の場として広く市民等に利用される状態。				
事業概要	特別史跡百済寺跡は、昭和40年から42年の整備後、40年以上の歳月を経て各所の老朽化損壊変形が目立ち、表土の流失が著しい状態であることから、雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事と合わせ、史跡公園として再整備を行う。再整備に当たっては、保存活用を図るための必要な調査及び資料の収集と史跡保全の指針を得るために専門委員で構成される特別史跡百済寺跡再整備検討委員協議会を設置し、百済寺跡の再整備に関する事項について調査審議する。 平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度までの間に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度から再整備工事に着手している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						古代寺院の景観を体感できる歴史学習の場として広く市民等に利用される。				雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事と合わせ、史跡公園として再整備を行う。			
指標設定	指標説明	市民が利用可能な面積				当初予算額に対する補助金費消率 【算出式:決算額/当初予算額×100】							
		単位				単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	0%				94%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	4.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,385	5,500	5,078		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	67	48		
	人件費計	6,385	5,567	5,126		
	物件費計	61,673	110,117	34,221	89,147	38.4%
	歳出計	68,058	115,684	39,347		
歳入	国庫支出金	27,444	40,000	17,111	17,121	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	29,300	36,000	15,300	67,000	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	56,744	76,000	32,411	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	4,929	34,114	1,810	5,026	

5. 総括的分析

総括的分析	平成27年度から再整備工事を着手。 令和4年度は、計画に基づき築地塀の基礎工事及び簡略工法の躯体鉄骨組工事を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度は、築地塀を完成させる。 令和6年度の公園整備完成に向け引き続き地域住民の理解と協力を得ながら、再整備事業に取り組む。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 524

事務事業名称	文化財活用事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民の共有財産である文化財の公開等、啓発普及事業への理解と共感をもつ市民			
	サブターゲット	歴史や文化財に関心はあるが、啓発普及事業に触れる機会を知らない市民			
	ターゲットが抱える課題	地域の歴史や文化財関連に関する情報を知る機会や接触する場が限定され少ない。			
	ターゲットが抱える課題	さらに深い文化財関連の知識を得る機会等が少ない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、基金活用も含めた文化財の啓発普及により、郷土愛が育まれ次世代へ確実に継承される状態。				
事業概要	市内に点在する歴史文化遺産について、地域性や時代等によるまとまりを踏まえ、3つの「歴史回廊」を設定し文化財の活用を進める。有効に保存・活用を図るため、主に次の事業を行う。 ○歴史講座、歴史ウォーク(市内文化財めぐり等)○文化財の展示(輝きプラザきらら展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示)○発掘調査現地説明会○出土遺物復元作業見学会(土器に触れ合う機会)○特別史跡百済寺跡で創建時のAR映像の紹介○刊行物(文化財関係図書等)の発行など○出前講座○文化財説明板の建替・修繕○文化財防火デー(文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		文化財保護に対して、市民の理解と共感が深まる。				関心のある市民が事業に参加する。				啓発普及事業を実施する。			
指標設定	指標説明	受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式:受講者アンケートにて「満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				講座等の参加者数				講座等の実施件数(延べ)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	80	80	80	80	1,280	1,280	1,280	1,280	14	15	15	15
	実績	73	85	87		281	1,649	1,916		6	11	13	
	達成度	109%				150%				87%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.14
再任用	0.27
任期付職員	0.35
会計年度任用職員	1.68
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,494	14,414	11,763		
	会計年度任用職員	7,133	5,834	6,370		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,627	20,248	18,133		
	物件費計	2,909	2,430	3,077	3,781	81.4%
	歳出計	17,536	22,678	21,210		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,143	1,385	2,640	2,854	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,143	1,385	2,640	2,854	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,766	1,045	437	927	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方宿で開催した「まちかど歴史展示」の一環として実施した1日限定の展示会では700人程の来場があり、文化財を身近に感じることができたと好評を得た。百済寺跡を紹介するAR映像は大阪工業大学によるバージョンアップを行い、新たに遺跡発掘体験ゲームを加えてイベントで披露したほか、実際に出土した土器を使った復元等整理作業の体験イベントや、旧田中家鋳物民俗資料館と市内の工場を巡る鋳物ツーリズムを開催するなど、多様な啓発活動を実施し、参加者の増加につなげた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	さらに展示ルームや本庁舎での遺物展示や発掘調査報告会・市民歴史講座の開催などこれまでの取り組みに加え、市民の文化財への理解、保護意識の醸成や市内外への啓発のため、ICT技術を活用した映像体験、ホームページでの文化財解説、百済寺跡の築地塀復元工事見学会など効果的な普及啓発活動の手法の研究と実践を行っていく。

事務事業実績測定調査

R4調査番号 525

事務事業名称	文化財施設等維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	文化財課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	収蔵施設の維持管理を行い文化財の保存管理を行う職員及び職場			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	文化財を保存管理する文化財収蔵施設の老朽化が進行しており、適切な改善を施す必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、確実な文化財収蔵施設の維持管理を実施し、活用の機会拡大が図れるとともに、次世代へ確実に継承された状態。				
事業概要	貴重な文化財を保存管理するため、収蔵施設の維持管理を行う。差?東プレハブ文化財収蔵庫、元山田幼稚園施設文化財収蔵庫では、市内の発掘調査で出土した埋蔵文化財や市内で収集した民具などの文化財を収蔵している。山田分室では、市内発掘調査で出土した埋蔵文化財の復元等整理作業を行うと同時に一部を収蔵している。・差?東プレハブ文化財収蔵庫(翠香園町30、平成3年建築、延床面積129.6㎡)・元山田幼稚園施設文化財収蔵庫(甲斐田町1-27、昭和48年建築、延床面積408.06㎡)・山田分室(都丘町6-9、昭和60年建築、文化財課所管占有延床面積556.326㎡)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
		維持管理を通じて、収蔵される文化財の適正な保存管理がなされる。	収蔵施設に必要な維持管理を実施する。	
指標設定	指標説明	点検に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/当初予算額×100】	全収蔵施設の維持管理のために実施した消防点検など必要な点検の延べ回数	
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
		実績	100 100 100 100	8 8 8 8
	達成度		146%	100%

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,018	4,364	2,344		
	会計年度任用職員	739	1,783	1,003		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,757	6,147	3,347		
	物件費計	33,371	3,083	4,670	6,890	67.8%
	歳出計	38,128	9,230	8,017		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	64	128	108	199	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	64	128	108	199	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	33,307	2,955	4,562	6,691	

5. 総括的分析

総括的分析	各施設の維持管理のため、警備委託、清掃委託、各種設備の保守点検委託を必要に応じて実施するとともに、日常的な建物の安全管理を実施した。令和4年度は、元山田幼稚園収蔵庫の換気扇修理等を実施した。施設の維持管理を行いながら、今後一般市民の供用に資する方策検討が求められる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	山田分室の屋根・外壁更新工事等を控える。引き続き施設の計画的な改修を行うとともに、施設の日常管理を行っていく。

事務事業名称	文化財調査事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	歴史的文化遺産が継承されることにより好影響を受ける市民・事業者			
	サブターゲット	歴史文化遺産の所有者			
	ターゲットが抱える課題	市域に所在する歴史文化遺産の文化財的な価値について総合的に分からない。			
	ターゲットが抱える課題	所有する歴史文化遺産について、未調査のものについては文化財的な価値が分からず、保存管理の方針が分からない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調査によって把握された市域の歴史文化遺産の価値について、適切に市民に還元することができる状態。				
事業概要	歴史文化遺産を随時調査し、その年代、美術的・歴史的価値を判断し、文化財としての価値を把握する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	文化財の価値を周知することにより、後世への継承につながる。				アウトプット (活動結果)	市域の歴史文化遺産について、美術的・歴史的価値が把握される。				インプット (活動)	市域に所在する歴史文化遺産の調査を計画する。			
	指標説明	調査の実施により記録または報告に取りまとめた文化財の件数				歴史文化遺産の調査実績件数				計画した歴史文化遺産の調査件数					
指標設定	単位	件				単位	件				単位	件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	実績	4	2	2		10	2	2		4	2	2			
達成度	100%				100%				100%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,993	1,729	3,125		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,993	1,729	3,125		
	物件費計	108	10	72	594	12.1%
	歳出計	5,101	1,739	3,197		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	108	10	72	594	

5. 総括的分析

総括的分析	以下の調査を実施した。 ・国登録有形文化財登録手続きに係る建造物調査 2件(旧木南家住宅・鍵屋別棟)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	歴史文化遺産について、調査対象を具体的に検討し調査を実施していく。

事務事業名称	文化財保護管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民の共有財産である文化財への理解と共感をもつ市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	保存科学処理等計画的に行う文化財保護管理を、継続的に適正に行なう必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	安全・快適に広く市民利用に供するため、除草や竹間伐など適正で効率的な遺跡の維持管理が必要			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、文化財の保護管理が適切に実施された状態。				
事業概要	枚方市域に残された文化財(埋蔵文化財・民俗文化財)を将来に伝えるべく、適切に保護・保存するとともに、市民に対して文化財保護への理解と郷土への愛着を育むことを目的に、主に次の活動を行う。 ○茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉?東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等による保護管理○特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。○特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施○近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、管理計画に基づく管理○楠葉台場跡の適正な保存管理(令和2年度に事業統合)。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					文化財が適正に保存管理され、後世に残される。				各文化財に応じた必要な保護管理を行う。				
指標設定	指標説明					保護管理によって、滅失・毀損せずに翌年度に継承した文化財の件数(遺跡数+天然記念物+民俗1件で計上)				草刈や保存科学処理、保護管理等を実施した延べ回数(対象:遺跡+天然記念物+民俗への燻蒸処理は原則1回)			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					11	11	11	11	18	17	17	17
	実績					11	11	11		18	17	17	
達成度					100%				100%				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					楠葉台場跡を安全・快適に市民が利用できる。				楠葉台場跡の適正な保存管理を推進する。				
指標設定②	指標説明					(定点観測による)利用延べ人数				除草の回数/年			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					200	220	240	260	6	7	6	6
	実績					26	87	81		7	7	7	
達成度					34%				117%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.05
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,409	5,325	5,292		
	会計年度任用職員	959	706	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,368	6,031	5,292		
物件費計	26,581	21,718	20,510	24,824	82.6%	
歳出計	34,949	27,749	25,802			
歳入	国庫支出金	2,967	1,589	258	260	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	800	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,767	1,589	258	260	
一般財源（物件費に充当されるもの）	22,814	20,129	20,252	24,564		

5. 総括的分析

総括的分析	文化財保存地及び楠葉台場跡の維持管理については、市民からの意見・要望への対応も行いながら問題解決を図った。 百済寺跡出土遺物の保存科学処理は、国庫補助金を活用して実施し令和4年度で完了した。 府天然記念物「枚方田中邸のむく」の樹勢回復事業は、保全計画に基づき令和4年度で完了した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	文化財保存地及び楠葉台場跡については、文化財保護および周辺住宅地の環境保全の観点からも適切かつ計画的に管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 528

事務事業名称	文化財保護審議会運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的	事務	区分	庶務的	内部管理	事務
事業期間	1994(H6)年度		年度	～	年度まで			
根拠法令等	枚方市文化財保護条例							
関係補助金名称				サンセット	～			
関係附属機関名称	文化財保護審議会							
事業対象	メインターゲット	市職員						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	各分野の専門的な知見が得られず、文化財を適切に保存・活用することが困難となる。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各分野の専門家で構成される文化財保護審議会により文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議が行われ、その答申を受けて、文化財が適切に保存・活用されている状態。							
事業概要	枚方市文化財保護条例の規定に基づき、文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議するため、市の附属機関として、文化財保護審議会を設置している。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,189	1,281	1,424		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	67	76	76		
	人件費計	2,256	1,357	1,500		
	物件費計	18	0	10	75	13.3%
	歳出計	2,274	1,357	1,510		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	18	0	10	75	

5. 総括的分析

総括的分析	委員の任期満了に伴い、第15期の審議会委員として9名の委員を委嘱(任期:令和4年9月1日～令和6年8月31日)した。 令和4年9月13日に審議会を開催し、令和3年度に実施した文化財の普及啓発に関する取り組みや今後の方針、国登録有形文化財(建造物)の登録申請状況、特別史跡百濟寺跡再整備事業の進捗などについて報告し、専門的見地から意見をいただいた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	審議会での意見に基づき事業内容を検討し、今後の文化財の保存と活用の取り組みに反映していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 529

事務事業名称	埋蔵文化財発掘調査事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1971(S46)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	埋蔵文化財調査の原因となる工事等を実施する事業者等(施主である市民も含む)			
	サブターゲット	地域を問わず全ての市民			
	ターゲットが抱える課題	天候等の事情で発掘調査の施行に遅れが生じると、土木工事の工期の遅れや負担費用の増加が生じる場合があり、また、そのような場合があることの周知が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	調査対象となる事業主等の遺跡保護に対する理解を得ながら、文化財保護法等の趣旨に基づき、手続きや発掘調査等を実施し、埋蔵文化財の確実な保護を図るとともに、その成果をまとめ、公表・公開され、活用が行われている状態。				
事業概要	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の記録保存及び埋蔵文化財の周知の徹底を図るために、必要な措置の実施に努めている。埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等は、届出が義務付けられているため、事業者には「埋蔵文化財の発掘届出・通知書」の提出を求め、それまでの調査結果に基づき調査方法を決定し、事業者の協力を得ながら、必要に応じて試掘確認調査及び本発掘調査を実施し、その成果を概報・年報・報告書等で公表している。埋蔵文化財発掘調査及び埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業については、平成29年度までは市直営及び(公財)枚方市文化財研究調査会への委託で実施していたが、同会の解散により、平成30年度から事業統合し、全て市直営で埋蔵文化財発掘調査事業として実施することになった。今後は、埋蔵文化財発掘調査の計画的で効率的な体制を構築し埋蔵文化財保護を推進するとともに、調査成果の公開の機会を増やすことで活用の充実に図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			埋蔵文化財が発掘され、その結果を取りまとめる。				必要となる手続きや、発掘確認調査及び本発掘調査を実施する。			
指標設定	指標説明		成果を取りまとめ、公表・公開した報告件数				発掘調査実施日数(延べ)			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		70	70	70	70	300	300	300	300
	実績		111	39	26		377	234	366	
達成度			37%				78%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.45
再任用	0.00
任期付職員	0.65
会計年度任用職員	4.41
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,594	10,231	14,109		
	会計年度任用職員	14,605	11,464	14,171		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	29,199	21,695	28,280		
	物件費計	17,917	10,515	29,817	30,949	96.3%
	歳出計	47,116	32,210	58,097		
歳入	国庫支出金	7,848	3,561	10,090	10,524	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	7,848	3,561	10,090	10,524	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	10,069	6,954	19,727	20,425	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の埋蔵文化財届出処理件数は728件であった。 現地にて調査・立会を行った件数 218件、内訳：試掘・発掘調査30件、工事立会188件 埋蔵文化財の調査については、「枚方市埋蔵文化財発掘調査年報」を刊行し、それぞれの成果を公表した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	試掘・発掘調査及び工事立会の確実な履行を求めするため、連絡体制等の確立に努める。また、調査の成果を資料整備に反映させていく。突発的な発掘調査に備えるために、効率的な体制を整える。

事務事業名称	枚方宿鍵屋資料館維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	(資料館 展示) 歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について関心が薄く、場所も分かりづらいため来館しづらい。			
	ターゲットが抱える課題	駐車場の確保			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人が、枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について理解を深めることのできる場所や機会として、広く周知された上、適切に提供されている。				
事業概要	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について広く啓発普及することにより、枚方の歴史に対する認識を深めるとともに、郷土愛を育てることを目的として、枚方宿鍵屋資料館指定管理業務として、①資料館の調査研究展示業務、②資料館の利用その他入場制限に関する業務、③利用料金に関する業務、④施設及び設備の維持管理に関する業務、⑤PR・企画業務、⑥その他業務を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						枚方宿鍵屋資料館が適性に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					計画的な修繕料・工事請負費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式: 決算額/当初予算額×100】				計画的な修繕・工事件数(指定管理事業含む)			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	1	3	1	1
	実績					48	56	90		7	14	6	
達成度					90%				600%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	4,396	3,741	4,410		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,396	3,741	4,410		
	物件費計	23,204	26,779	23,462	23,562	99.6%
歳出計		27,600	30,520	27,872		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		23,204	26,779	23,462	23,562	

5. 総括的分析

総括的分析	維持管理のために必要な施設保全、保守点検を行い、適正に維持管理を行っている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について広く普及啓発するため、枚方宿鍵屋資料館の維持管理事業を継続する。

事務事業名称	市指定文化財補助事業									
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業		
事業期間	1996(H8)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	枚方市文化財保護条例、枚方市補助金等交付規則(昭和40年枚方市規則第30号)						
関係補助金名称	文化財保護事業補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	市指定文化財等の所有者					
	サブターゲット	市指定文化財等の見学者等					
	ターゲットが抱える課題	自然災害等によって、突発的な市指定文化財等の毀損が生じることがある。					
	ターゲットが抱える課題	文化財の修復・維持管理には大きな経費がかかるため、経済的理由から文化財の滅失が余儀なくされる場合がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市文化財保存活用基金」活用も視野に入れ、市指定文化財等が市民共有の財産として後世に継承する一助となり、適切な保存がなされている状態。						
事業概要	市域に所在する文化財について、要綱の規程による補助対象事業に補助金を交付し、文化財の保護を支援する。 枚方市文化財保存事業補助金交付要綱では、市指定文化財に対し、有形文化財の修理及びこれらの物のための防災設備の設置、天然記念物の保護増殖、文化財の管理又は保存等を補助対象事業とする。文化財の管理又は保存には、建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付している。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市指定文化財等が市民共有の財産として後世に継承につながる。				アウトプット (活動結果)	市指定文化財等について、所有者による適切な保存管理の支援が図られる。				インプット (活動)	文化財保護事業補助金を交付する。			
	指標説明	翌年度に継承する市指定文化財等件数(補助対象)				補助事業の実施件数				補助金交付申請数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14		
	実績	14	14	14		14	14	15		14	14	15			
達成度	100%				107%				107%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,721	1,336	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,721	1,336	1,562		
	物件費計	340	340	504	510	98.8%
	歳出計	3,061	1,676	2,066		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	82	83	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	82	83	
一般財源（物件費に充当されるもの）		340	340	422	427	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・交付申請の手続きの際に補助対象となる全件の市指定文化財の保存状況の確認を行った。問題なく保存しており、文化財を後世に継承できる状況である。 ・市指定文化財の廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物以外の有形文化財・民俗文化財及び記念物11件に交付した(340千円)。 ・枚方市天然記念物保護事業補助金(令和4年度限り)を決裁により制定し、衰滅の危機に瀕している大阪府指定天然記念物「光善寺のさいかち」の樹勢回復事業に対し補助金を交付した(82千円)。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市指定文化財の適切な保存管理が行われ、市の財産として継承されるように、引き続き補助金を交付していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 904

事務事業名称	文化財課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	文化財課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外									
	施策目標	99.施策体系外									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、枚方市教育委員会事務局事務分掌規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課内職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	年々事務量が増加しており、事務処理の効率化・平準化を進め、またやるべき業務の選別・整理が必要。			
	ターゲットが抱える課題	職員のモチベーションの維持			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の事務事業が支障なく執り行われる環境の整備、人員体制、予算の確保等の実現				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.32
再任用	0.25
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,054	14,421	11,999		
	会計年度任用職員	973	556	48		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,027	14,977	12,047		
	物件費計	2,305	2,171	2,246	2,283	98.4%
	歳出計	19,332	17,148	14,293		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	90	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	5	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	90	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,305	2,081	2,246	2,278	

5. 総括的分析

総括的分析	費用対効果の観点から効率的に事務事業の執行を行っている。
-------	------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の事務事業が支障なく執り行われる環境の整備、人員体制、予算の確保等の実現 各種OA機器の更新時期にきているため、計画的に必要な事務・作業を進める。